

2023 年度秋季大会優秀講演発表賞受賞者

2023 年度秋季大会は、2023 年 10 月 19 日(木)～20 日(金)の 2 日間、同志社大学寒梅館で開催しました。学生会員の講演発表のうち、下記の 12 名の学生会員に優秀講演発表賞を授与することが決定致しました。

秋 葉 健 (東京工業大学)

「バイオセンシングのための高い分散安定性を有するタンパク質固定化酸化鉄磁性ナノ粒子の作製」

荒 町 淳之介 (名古屋工業大学)

「炭素複合シリカ無焼成固化体の微細構造設計と特性評価」

池 田 成 人 (千葉大学)

「多孔性水和ジルコニア粒子の粒径制御と水熱結晶化」

上 野 鳳 也 (岡山大学)

「水とに伴うプロトン伝導性電解質の機械特性変化」

千 田 いろは (東京理科大学)

「Mg 二次電池正極材料 $0.3\text{MgCo}_{2-x}\text{Mn}_x\text{O}_4-0.7\text{Mg}(\text{Mg}_{0.33}\text{V}_{1.67-y}\text{Ni}_y)\text{O}_4$ ($x=0.5, 0.6 : y=0.1$) の電池特性および結晶構造の組成依存」

寺 前 拓 馬 (大阪大学)

「レニウム添加量と均質化熱処理条件の最適化による $\alpha+\beta$ 型 Ti-4Fe 焼結押出材の高強度化」

中 園 大 聖 (豊橋技術科学大学)

「エアロゾルデポジション法による複合膜の組成制御」

中 谷 剛 人 (京都大学)

「 YbMn_6Ge_6 における磁気転移」

中 村 弘 和 (大阪大学)

「粉末床熔融結合法における造形高速化のための粉末レーキ挙動の個別要素法解析」

廣 瀬 圭 祐 (同志社大学)

「p 型熱電変換材料 $\text{Ca}_3\text{Co}_4\text{O}_{9+\delta}$ の酸素不定比性と物性評価」

村 岡 丈太郎 (北海道大学)

「 $\text{Ti}_2\text{AlC-MAX}$ 相セラミックスにおける高温変形挙動の結晶方位依存性」

村 上 善 樹 (東京大学)

「DPC STEM 法を用いた磁場印加下の磁壁観察に基づくフェライト磁石の局所磁気特性評価」

(総評)

今秋季大会での優秀講演発表賞への応募講演は 50 件でした。

今大会は国際会議(JSPMIC2023)に引き続いて開催されたため、通常よりも短い 2 日間の会期となりましたが、多くの学生および若手研究開発者の講演と優秀講演発表賞への積極的な応募がありました。コロナ禍での会場への参加者数制限などがなくなり、各会場で多くの方に参加いただき、活発な質疑が行われました。講演者の中には多くの聴衆を前にした久しぶりの対面発表に緊張した様子の方もいましたが、発表練習の成果を発揮し、これまでの研究結果をアピールする良い機会になったのではないかと思います。

(一社) 粉体粉末冶金協会 会長 園田修三